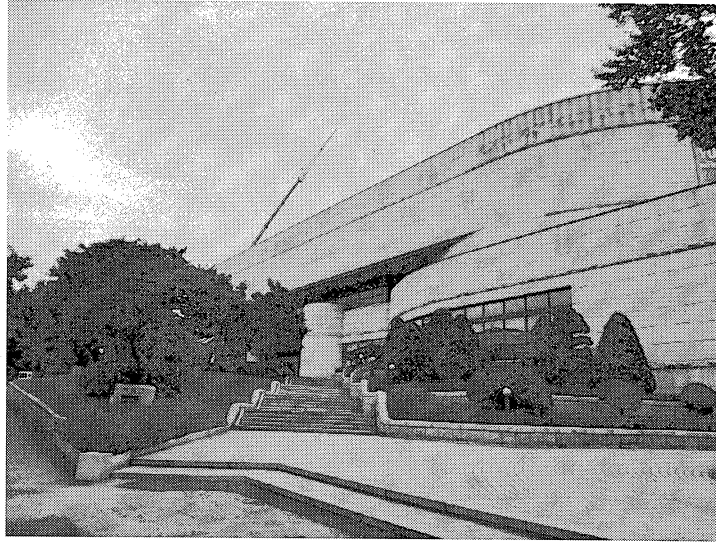


特別編 2

延世大学記録保存所・慶熙大学慶熙記録館



延世大学百周年記念館。このなかに延世大学記録保存所がある。

延世大学記録保存所

基本データ

開設年月日：1998 年

所在地：262 Seongsanno, Seodaemun-gu, Seoul 120-749, Korea

HP アドレス：<http://web.yonsei.ac.kr/archives/>

所蔵資料点数：107,006 点（2008 年時点）

調査日時：2011 年 8 月 18 日 場所：延世大学記録保存所

お話しいただいた方：博物館アーキビスト Lee Won-Kyu 氏

調査者：酒勾康裕

慶熙大学慶熙記録館

基本データ

開設年月日：1999 年

所在地：1 Hoegi-dong, Dongdaemun-gu, Seoul 130-701, Korea

HP アドレス：なし

所蔵資料点数：約 105,000 点

調査日時・場所：2011 年 8 月 12 日

お話しいただいた方：学芸研究員 Nam Ki-Won 氏

調査者：酒勾康裕

1. 韓国における大学アーカイヴズ設立背景

韓国では1990年代に入り、多くの大学では大学史編纂過程において、学校の歴史を客観的かつ体系的に記述するために記録を管理する必要性が認識されはじめ、大学記録館（アーカイヴズ）が設置されはじめた。

1999年に制定された（施行は2000年1月1日）「公共機関の記録物管理法令」及び施行令では、大学を公共機関の範疇に含め、義務的に記録する部署や機関を設置しなければならないと規定されている。また、同法施行規則には「その機関及び所属機関の年間記録物の生産量が1000冊以上、又は保存対象の記録物が5000冊以上の機関」は記録館を設置・運営しなければならないことが規定されている。

上記のような流れから2000年代に入り、多くの大学でアーカイヴズが設置されはじめているが、現在のところ政府では国公立大学だけを対象にアーカイヴズの設置を強制している。私立大学はまだそのような状況ではないが、法律が定められた以上、将来、私立大学にも義務的に設置されることが予想され、アーカイヴズがない大学にも設置計画を立てている場合が多い状況である。

多くの大学では年史編纂作業を契機としてアーカイヴズ設立へと繋がるが、上記法令施行後、国の政策方針に従うことによって初めて設立へと動くケースも見られる。

2. 韓国の大学アーカイヴズ概要

韓国には約400の大学がある（4年制238校、2年制160校）が、このうち主な大学のアーカイヴズの設置状況は次の通りである。

大学名	アーカイヴズ名称	設立年度	所属
梨花女子大学（私立）	梨花歴史館	1989	単独の附属機関
成均館大学（私立）	校史資料室	1997	図書館に所属
高麗大学（私立）	記録資料室	1998	博物館に所属
延世大学（私立）	記録保存所	1998	博物館に所属
慶熙大学（私立）	慶熙記録館	1999	図書館に所属
慶北大学（国立）	記録館	2000	単独の附属機関
ソウル大学（国立）	大学記録館	2001	単独の附属機関
弘益大学（私立）	記録保存所	2001	単独の附属機関
明智大学（私立）	大学史料室	2002	博物館に所属
西江大学（私立）	記録保存所	2002	図書館に所属

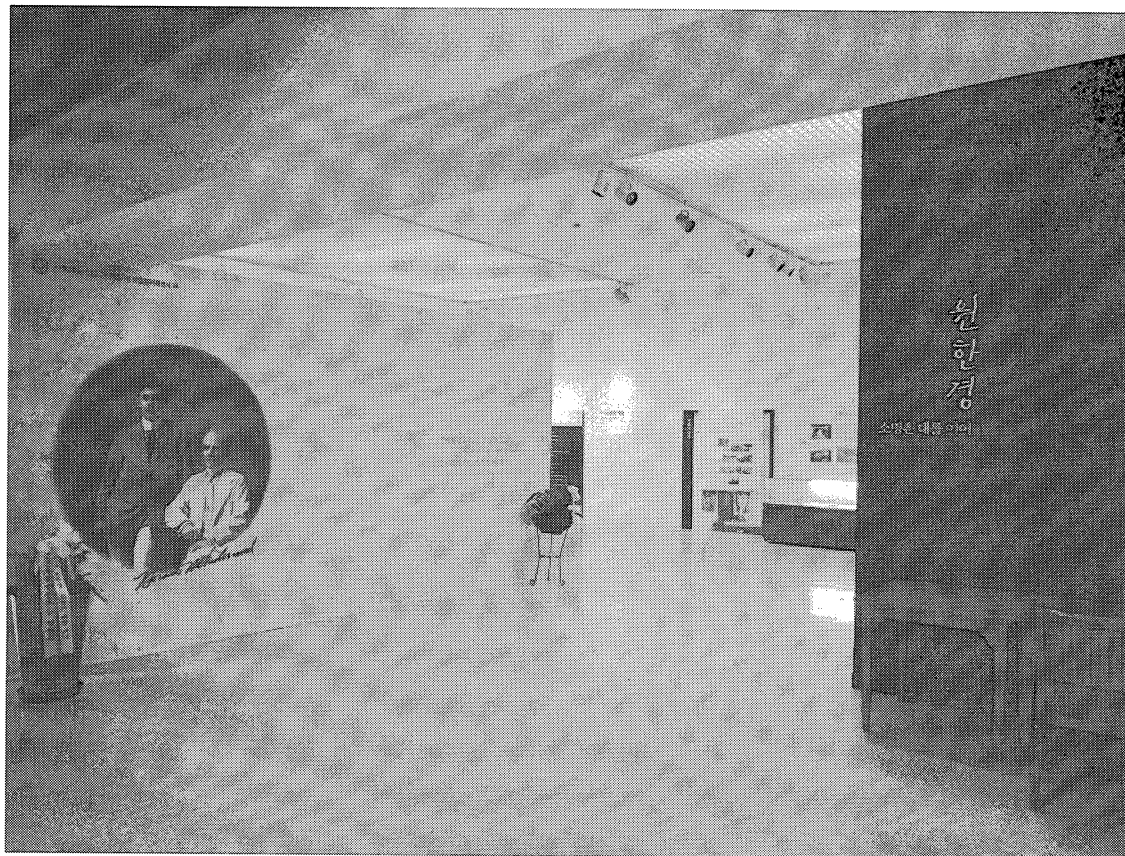
慶南大学 (私立)	記録物管理センター	2003	総務処に所属
韓神大学 (私立)	記録情報館	2003	単独の付属機関

キム ジョンギョ『慶熙アーカイヴズ構築のための研究報告書』(2010年)p.31 参照

また、これらの大学も多く加入している「韓国大学記録館協議会」(ホームページ：<http://www.uarchives.or.kr>) には 41 大学が参加している。

3. 延世大学と慶熙大学への訪問

2011 年 8 月に報告者が本学夏期語学研修での出張滞在時に、延世大学記録保存所と慶熙大学慶熙記録館を見学する機会が得られた。



延世大学設立者である Horace Grant Underwood に関する企画展示コーナーの入口

延世大学では「延世大学 100 年史」の発刊が母体となり、1998 年に中央図書館所属として「延世大学記録保存所」が設立された。主な業務である記録物の収集はその範囲を事務記録、非事務記録、歴史記録、図書資料の 4 分野に分け、大学内で作られる全てを収集対象としている。設置以降、組織の改組等により、現在は博物館の所属として百周年記念館内に位置している。今後、この記念館内に事務所等の空間が確保されるという。

慶熙大学は開校 50 周年を契機に 1999 年に「慶熙歴史史料室」が設置され、主に同窓生から寄付された資料の収集を行なってきたが、より活発な活動のために担当教職員による大学側への働きかけにより、2010 年に「慶熙記録館」として発足した。現在は図書館の所属であり、空間や施設・設備・人員等が不足しているが、今後の業務内容の拡大に向けて基礎的な収集・分類作業を行なっているという。



慶熙大学中央図書館。このなかに慶熙記録館の事務室が設置されている。

また、本報告書を作成するにあたり参考としている「慶熙アーカイヴズ構築のための研究報告書」が作成されている通り、学内研究費を用いて 2009 年から 1 年間、韓国内外のアーカイヴズ調査研究を実施し、学内におけるアーカイヴズの認識が高まりつつある状況である。

両機関で説明いただいた方によると、共に学内での改組を何度か経験しており、私立大学のアーカイヴズは大学法人にいかに関心してもらい、バックアップを得られるかが重要との認識で一致していた。今後も必要とあれば協力いただける話をいただいているので、本学における今後の活動にも参考にしていけるものと思われる。

参考資料 韓国大学記録館協議会『韓国大学アーカイヴズ設立及び運営指針 第1版』(2006 年)

キム ジョンギョ『慶熙アーカイヴズ構築のための研究報告書』(2010 年)

(酒勾康裕)

